

### 事業提案

事業者：宮崎電子機器株式会社（所在地）宮崎市下原町214-18  
 資本金：2,100万円 業種：小売業 従業員数：123名

## 事業名：社内情報管理クラウドシステム構築事業

クラウド



## 蓄積された顧客データの有効活用、行動分析導入で生産性向上

事業者：宮崎電子機器株式会社（所在地）宮崎市下原町214-18  
 資本金：2,100万円 業種：小売業 従業員数：123名

### 【概要】

- 顧客管理システムとグループウェアを次世代クラウドシステムに統合

### 【主な取組】

- 取引記録をグラフや図に起こしてグラフィカルな分析ができる従来のSFA機能だけでなく、ルートセールス向けに地図と顧客情報をリンクさせ、最も接触すべき顧客をどのルートで訪問すべきか一目で分かる機能を実装する
- バックオフィスの自動化

### 【事業の目標】

#### （定性目標）

- データ統合、データの有効活用、及び行動管理を取入れ生産性向上を図る

#### （定量目標）

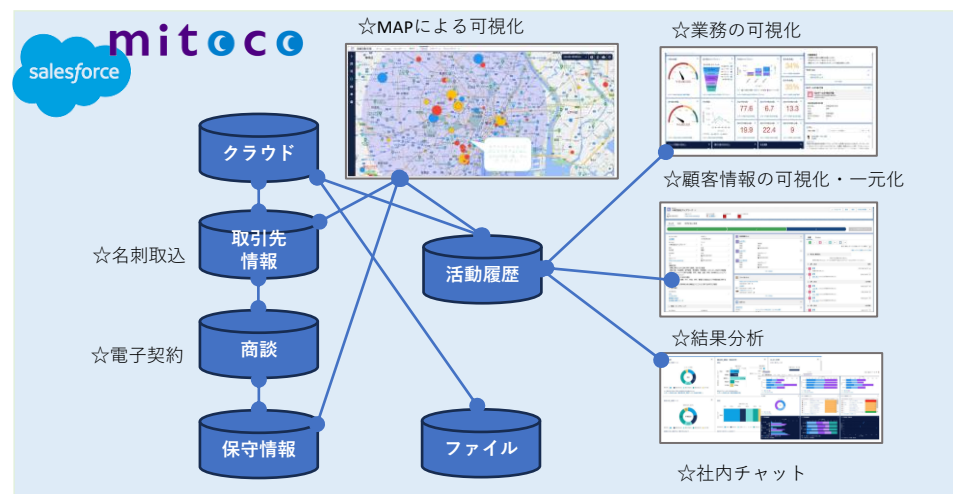
- バックオフィス業務を4%削減し、フロントオフィス部門に配置転換を図る
- GPS・地図・顧客情報をリンクさせ、活動の最適化を行い活動量を10%上げる

### 【取組を行う背景】

- 社内には5000社を超える取引先のデータがあるが、システムがばらばらで入力作業の重複、新旧のデータの混在、データの有効活用が出来ていないという背景があり取組みを検討した

### 【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- 販売管理システムも刷新しシステムを統合、更なるデータの活用を推進
- 将来的にはAI機能を実装し、あらゆる業務が自動化できるような環境構築を実現したい



### 【効果（成果）】

- 消耗品配送業務：1日の平均配送時間：導入前約7時間、導入後約5時間に短縮。（30%削減）
- 営業訪問活動：月間の訪問平均件数：導入前60件、導入後90件（50%向上）
- 顧客情報の活用：顧客情報ページに活動状況・売上実績・顧客に関わるニュース等が集約
- 分析資料作成時間（月1回）：導入前8時間、導入後2時間（75%削減）

### 【今後の課題】

- 削減された業務に関わっていた人員を配置転換し生産性向上を図る
- 販売管理システムとの統合、AIも活用し更なる自動化を目指す